

学校番号	学校	学科（学系）	課程
40 (1)	高田高等学校	普通科	全日制

URL (note) <https://tak-hs.note.jp/>



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」		
・基礎的な学力を有している生徒 ・本校の教育内容に興味・関心を持ち、入学後も前向きに取り組む生徒 ・自分や仲間を大切にし、個性や長所を伸ばそうと努力する生徒 ・自らの成長や夢の実現を通して、地域や社会の復興・発展に貢献したいと考える生徒 ・部活動や生徒会活動などに意欲的に取り組む生徒		
特色入学者選抜において求める生徒像		
・自ら成長しようとする意志を持ち、学校内外の活動に前向きに取り組む生徒 ・地域や社会の課題に関心を持ち、課題の解決に向けた活動に主体的に取り組むことのできる生徒 ・これまでの地域貢献の活動からどのような資質・能力が身に付いたかを説明できる生徒 ・高校生活においてどのように地域の課題解決に向けて活動していきたいか、あるいは、どのように地域に貢献していきたいかを具体的に説明できる生徒		
各選抜の内容		
一 次 募 集	一般入学者選抜	【募集定員】定員（120 名）から特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5：5 1 学力検査（500 点） 2 調査書（500 点） 3 学校独自検査 なし 《合計 1000 点》
	特色入学者選抜	【募集定員】12 名（定員の 10%） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（50 点） 「中学 1 ～ 3 年の 9 教科の評定」の合計 135 点を圧縮 2 志願理由書（50 点） 評価の観点（配点）：志願意欲（10 点） これまでの取組への主体性、積極性（20 点） 入学後の活動に関する意欲（20 点） 3 作文（50 点） ・検査時間 50 分 ・当日示されたテーマに沿って、これまでの活動や入学後の高校生活について具体的に書く。（600 字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（40 点） 表現力（10 点） 4 面接（50 点） ・個人面接（約 15 分） ・評価の観点（配点）：志願意志等（20 点） 進路に関する意欲（20 点） 表現力（10 点） 《合計 200 点》
	一次選考の有無	志願者が 2 倍を超える場合には、提出書類により一次選考を行うことがある。

日程	1 日目：一般入学者選抜の学力検査 （8：30 集合、14：55 終了） 2 日目：特色入学者選抜の作文、面接 （8：30 集合、面接が終了した者から順次終了）
二次募集	【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（50 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定 × 1 + 中学 2 年の 9 教科の評定 × 2 + 中学 3 年の 9 教科の評定 × 3」の合計 270 点を圧縮 2 面接（50 点） ・個人面接（15 分） ・志願理由、入学後に取り組みたいこと、高校卒業後の進路希望などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（20 点） 進路に関する意欲（20 点） 表現力（10 点） 3 作文（50 点） ・検査時間 50 分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えを書く。（600 字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（40 点） 表現力（10 点） 《合計 150 点》
その他 （学校・学科の魅力・特色）	・多様な進路希望に対応したコース制で一人ひとりの進路実現をめざす。 ・総合的な探究の時間で、地域や大学と連携・協働して課題解決に取り組む。 ・平成 29 年度から高田高校教育プログラム＝T×ACTION を実施。地域や有識者の支援も得ながら、探究活動や地域貢献活動、自己能力伸長活動、進路活動などを行う。これらの活動を通して、計画力・実行力・発信力を身に付ける。 ・女子ソフトテニス部が令和 8 年度インターハイ出場、女子バレーボール部が令和 2 年度「春高バレー」全国大会出場。

学校番号	学校	学科（学系）	課程
40 (2)	高田高等学校	海洋システム科	全日制

URL (note) <https://tak-hs.note.jp/>



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」		
・基礎的な学力を有している生徒 ・本校の教育内容に興味・関心を持ち、入学後も前向きに取り組む生徒 ・自分や仲間を大切にし、個性や長所を伸ばそうと努力する生徒 ・自らの成長や夢の実現を通して、地域や社会の復興・発展に貢献したいと考える生徒 ・部活動や生徒会活動などに意欲的に取り組む生徒		
特色入学者選抜において求める生徒像		
・自ら成長しようとする意志を持ち、学校内外の活動に前向きに取り組む生徒 ・水産・海洋に関心を持ち、地域の水産・海洋関連産業の発展に貢献しようとする生徒 ・高校生活において水産や海洋、地域についてどのように学びたいか、また、将来どのように社会に貢献していきたいかを具体的に説明できる生徒		
各選抜の内容		
一次募集	一般入学者選抜	【募集定員】 定員（40 名）から特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5：5 1 学力検査（500 点） 2 調 査 書（500 点） 3 学校独自検査 なし 《合計 1000 点》
	特色入学者選抜	【募集定員】 8 名（定員の 20％） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（50 点） 「中学 1 ～ 3 年の 9 教科の評定」の合計 135 点を圧縮 2 志願理由書（50 点） 評価の観点（配点）：志願意欲（10 点） これまでの取組への主体性、積極性（20 点） 入学後の活動に関する意欲（20 点） 3 作文（50 点） ・検査時間 50 分 ・当日示されたテーマに沿って、これまでの活動や入学後の高校生活について具体的に書く。（600 字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（40 点） 表現力（10 点） 4 面接（50 点） ・個人面接（約 15 分） ・評価の観点（配点）：志願意志等（20 点） 進路に関する意欲（20 点） 表現力（10 点） 《合計 200 点》
	一次選考の有無	志願者が 2 倍を超える場合には、提出書類により一次選考を行うことがある。

日程	1 日目：一般入学者選抜の学力検査 （ 8：30 集合、14：55 終了） 2 日目：特色入学者選抜の作文、面接 （ 8：30 集合、面接が終了した者から順次終了）
二次募集	【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（50 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定× 1＋中学 2 年の 9 教科の評定× 2＋中学 3 年の 9 教科の評定× 3」の合計 270 点を圧縮 2 面接（50 点） ・個人面接（15 分） ・志願理由、入学後に取り組みたいこと、高校卒業後の進路希望などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（20 点） 進路に関する意欲（20 点） 表現力（10 点） 3 作文（50 点） ・検査時間 50 分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えを書く。（600 字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（40 点） 表現力（10 点） 《合計 150 点》
その他 （学校・学科の魅力・特色）	・ 6 次産業化に対応したカリキュラムで、漁業や養殖、食品加工、商業などの科目を学び、地域の水産業の担い手を育成する。 ・ 岩手県共同実習船による体験乗船や食品製造実習など、実習も充実している。 ・ 総合的な探究の時間で、地域や大学と連携・協働して課題解決に取り組む。 ・ 平成 29 年度から高田高校教育プログラム＝T×ACTION を実施。地域や有識者の支援も得ながら、探究活動や地域貢献活動、自己能力伸長活動、進路活動などを行う。これらの活動を通して、計画力・実行力・発信力を身に付ける。 ・ 女子ソフトテニス部が令和 8 年度インターハイ出場、女子バレーボール部が令和 2 年度「春高バレー」全国大会出場。

学校番号	学校	学科（学系）	課程
41	大船渡高等学校	普通科	全日制

URL（note） <https://ofu-hs.note.jp/>

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」		
・自律：学習に必要な基礎力を有し、自ら考えて行動し、責任をもって学校生活に臨む姿勢を持つ生徒 ・自己実現：自分の可能性や目標を追求し、自分が望む生き方や夢の実現に向けて継続的に努力できる生徒 ・向上心：未来に向けて自らの道を切り拓き、持続的な成長を遂げる生徒 ・探究心：「今をより良くするにはどうすれば良いのか」を考え、課題を見つけ、改善に向けて思考し行動できる生徒		
特色入学者選抜において求める生徒像		
・自分の夢や目標を明確に持ち、継続して努力を重ねる姿勢を持つ生徒 ・自分の将来に対して主体的に考え、失敗や課題を成長の機会と捉えて次のステップに活かす力を持つ生徒 ・あるべき新しい価値を生み出そうと創造しながら現状を分析し、課題を見つけ、その解決に向けたプロセスと行動で他者や社会に貢献しようとする生徒 ・課題を主体的にとらえる力と英語の読解力を備え、具体的な解決策を創造し、それを論理的に説明できる生徒		
各選抜の内容		
一次募集	一般入学者選抜	【募集定員】定員（160名）から特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5：5 1 学力検査（500点） 2 調査書（500点） 3 学校独自検査 なし 《合計 1000 点》
	特色入学者選抜	【募集定員】8名（定員の5%） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（75点） 「中学1～3年の国語・数学・社会・理科・英語の評定」の合計 2 志願理由書（25点） 評価の観点（配点）：夢・目標の明確さ（具体性・理由との関連）（5点） 主体性・努力の姿勢（主体的行動の有無）（5点） 成長と学びの振り返り（今後の活かし方）（10点） 表現力・構成力（論理的文章力）（5点） 3 プレゼンテーション（200点） ・次の手順で行う。 ① 課題読解とプレゼン資料作成（45分） 社会課題をテーマにした英文記事を読んだうえで、内容の要点とその社会課題への解決策の提案をA3横（スケッチブック）1枚にまとめた発表資料を作成する。 ② プレゼンテーション発表（5分） 作成した資料を使いながら、自分の考えを発表する。 ③ 発表の内容に関する質疑に答える（10分） ・資料、スマートフォン及びタブレット等の持込と映像の提示は不可。 ・発表（作成資料も含む）は日本語のみ。 ・評価の観点（配点）：資料の内容把握と読解力（50点） 解決策の具体性・創造性・独自性（50点） 資料のまとめ方と説明の表現力（50点） 応答における論理的思考力（50点） 《合計 300 点》

日程	一次選考の有無	志願者が2倍を超える場合には、提出書類により一次選考を行う場合がある。
	日程	1 日目：一般入学者選抜の学力検査 （8：30 集合、14：55 終了） 2 日目：特色入学者選抜のプレゼンテーション （各受験者の集合時刻、終了時刻は、受検票送付時に指示）
二次募集		【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（270点） 「中学1年の9教科の評定×1＋中学2年の9教科の評定×2＋中学3年の9教科の評定×3」の合計 2 面接（30点） ・個人面接（10分） ・志願理由、入学後・卒業後の生活などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：志願意志の明確さ（10点） 高校生活への意欲（10点） 学習活動への取組の意欲・具体性（10点） 3 作文（100点） ・検査時間 60 分 ・当日示された文章を読んで、自分の考えを論理的に記述する。（500～600 字） ・評価の観点（配点）：課題を捉える力（40 点） 論理的に表現する力（60 点） 《合計 400 点》

その他 （学校・学科の 魅力・特色）	1 進学型単位制 令和9年度入学生より進学型単位制がスタートする。本校は「探究が進路を駆動する学校」を教育の柱に掲げ、地域医療や地域課題を題材とした探究活動（大船渡学）を基盤に、データ活用や科学的な見方・考え方を取り入れながら、理系人材及び複雑化する社会課題に対して多面的にアプローチできる人材の育成を目指す。
	2 総合的な探究の時間 本校では総合的な探究の時間を「大船渡学」と称し、3年間で5単位実施している。ターゲット・コンピテンシーを養うことでアントレプレナーシップを育み、「社会の課題を見つけ、解決する力」や「夢中になれることを仕事にする力」を習得し、生徒の可能性を伸ばし、グローバルな人材を育成することを重視している。 3 いわて進学支援ネットワーク事業 探究・STEAM 教育推進事業推進校 文理の枠を超えた学びを通じて、高校生の理数分野への興味・関心を涵養するとともに、理数系人材やデータ収集・分析・利活用できる人材の輩出を加速するため、探究的な学習をSTEAMの視点から深める取組を推進する事業。

学校番号	学校	学科（学系）	課程
42	大船渡東高等学校	全学科（農芸科学科、機械電気科、情報処理科、食物文化科）	全日制

URL（note） <https://oft-hs.note.jp/>

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」		
【全学科】 ・自ら課題をみつけ意欲的に取り組む生徒 ・自己の学びを地元の復興に活かす生徒 ・地域環境に配慮できる生徒 【農芸科学科】 園芸、食品生産技術、経営、草花、造園技術を通して快適な生活空間の創造や食品衛生、食の安全・安心に興味関心があり、自ら課題を見つけ、意欲的に取り組む生徒 【機械電気科】 工業のスペシャリストを目指し、将来に向けて意欲的に努力することのできる、次世代の担い手となる意欲を持つ生徒 【情報処理科】 情報機器に触れ、自己の学びを地元の復興に活かし、商業の学び、ビジネスのしくみやマナーなどを学び、将来の進路に向けて頑張る意欲を持つ生徒 【食物文化科】 食に興味関心があり調理が好きな生徒、知識技術の習得に向けて根気強く取り組める生徒、将来食関連分野で働きたい生徒、将来に向けて意欲的に努力することのできる生徒		
特色入学者選抜において求める生徒像		
・これまでの学習活動及び特別活動に継続して取り組んだ経験があり、その経験からどのような資質及び能力が身についたかを具体的に説明できる生徒 ・本校での学習活動及び特別活動に積極的に取り組む意欲を持ち、自ら課題をみつけて活動の中心的な役割を担うことができる生徒 ・将来、農業・工業・商業・家庭のいずれかの分野で地域社会に貢献しようという強い意欲を持ち、そのためにどのような学校生活を送りたいかを具体的に説明できる生徒		
各選抜の内容		
一 次 募 集	一 般 入 学 者 選 抜	【募集定員】各科定員（40名）から特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5：5 1 学力検査（500点） 2 調査書（500点） 3 学校独自検査（50点） ・個人面接（1人約5分） ・評価の観点（配点）：志願意志等（40点） 表現力（10点） 《合計 1050 点》

特色入学者選抜	【募集定員】各科4名（定員の10%） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（100点） 「中学1年の9教科の評定×1＋中学2年の9教科の評定×2＋中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮 2 志願理由書（100点） 評価の観点（配点）：これまでの取り組みへの主体性、積極性（30点） 高校入学後の活動に関する意欲、具体性（30点） 高校卒業後の将来に関する意欲、具体性（30点） 表現力（10点） 3 面接（100点） ・個人面接（1人約10分）（一般入学者選抜の学校独自検査の面接を兼ねる） ・評価の観点（配点）：これまでの取り組みへの主体性、積極性（30点） 高校入学後の活動に関する意欲、具体性（30点） 高校卒業後の将来に関する意欲、具体性（30点） 表現力（10点） 《合計 300 点》
	一次選考の有無 無
日程	1日目：一般入学者選抜の学力検査 （8：30集合、14：55終了） 2日目：特色入学者選抜の個人面接及び一般入学者選抜の個人面接 （9：00集合、面接が終了した者から順次終了（12：00完了予定））
二次募集	【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（100点） 「中学1年の9教科の評定×1＋中学2年の9教科の評定×2＋中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮 2 面接（100点） ・個人面接（1人約15分） ・志望理由、入学後に取り組みたいこと、高校卒業後の進路希望などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（40点） 進路に関する意欲（40点） 表現力（20点） 3 作文（100点） ・検査時間 50分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えを書く。（800字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（80点） 表現力（20点） 《合計 300 点》
その他 （学校・学科の 魅力・特色）	【特色ある教育活動】 1 横断的学習 農業、工業、商業、家庭の専門学科が集結した総合的な専門高校であることを活かし、入学した学科以外の専門科目も選択で学ぶことができる。 2 課題研究 興味、関心のあるテーマを選択して1年間研究し、問題解決能力や応用力を養う。 3 地域と連携した教育活動 インターンシップ、校外実習、企業見学、企業の方を招いての講演会、技術講習会などを実施。

学校番号	学校	学科 (学系)	課程
43	住田高等学校	普通科	全日制

URL (note)	https://smi-hs.note.jp/
------------	---

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」		
・時代を先取りし、今の自分を大切にしながら、新しいことに挑戦して、地域社会の活性化に貢献したいと考える生徒を募集します。		
特色入学者選抜において求める生徒像		
・新しいことに挑戦しようとする強い意欲を持っており、校内外の活動において積極的に自分の力を発揮する生徒。 ・自分が住む地域への意識が高く、地域社会の活性化に向けて考え、率先して行動する生徒。 ・新しいことに挑戦しようとする強い意欲や、地域社会の活性化に向けた考えを具体的に説明できる生徒。		
各選抜の内容		
一次募集	一般入学者選抜	【募集定員（※）】定員（40 名）からいわて留学、特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5：5 1 学力検査（500 点） 2 調査書（500 点） 3 学校独自検査 なし 《合計 1000 点》
	特色入学者選抜	【募集定員】4 名（定員の 10％） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（20 点） 中学 1～3 年の 9 教科の評定の合計 135 点を圧縮 2 志願理由書（20 点） ・評価の観点（配点）：志願意欲等（10 点） 入学後の活動に関する具体性（10 点） 3 自己表現検査（40 点） ・以下の 3 つのテーマの中から 1 つ選び、スピーチを行う。（2～5 分） ①私が最近がんばって挑戦したこと ②私が住んでいる地域で、よいと思うところ ③地域のために、今の自分ができると思うこと ・評価の観点（配点）：取組姿勢（15 点） テーマ理解（15 点） 表現（10 点） 4 個人面接（20 点） ・志願理由書および自己表現検査の内容等について面接官の質問に答える。（10 分程度） ・評価の観点（配点）：目的意識（10 点） 自己認識（10 点） 《合計 100 点》
一次選考の有無		無
日程	1 日目：一般入学者選抜の学力検査、特色入学者選抜の自己表現検査・個人面接 （8：30 集合、16：45 終了） 2 日目：なし	

二次募集	【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（150 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定×1＋中学 2 年の 9 教科の評定×2＋中学 3 年の 9 教科の評定×3」の合計 270 点を圧縮 2 面接（150 点） ・個人面接①（10 分程度）、個人面接②（5 分程度） ・志願理由、自己分析、地域活動等について面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：目的意識（20 点） 社会認識（20 点） 自己認識（20 点） 人間性（20 点） 地域への関心（20 点） 態度・服装等（50 点） 3 作文（100 点） ・検査時間 50 分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えを書く。（600 字程度） ・評価の観点（配点）：表記（20 点） 表現（30 点） 内容（50 点）	《合計 400 点》
	その他 （学校・学科の 魅力・特色）	・多様な進路目標に応じた指導。 ・地域と連携した探究活動。 ・総合運動部、総合文化部による、個々の希望に応じた活動の支援。 ・いわて留学制度。

※ 定員 40 名の学科については、いわて留学及び一次募集合格者数の合計は、定員を超えて 4 名まで可（いわて留学合格者数が 4 名未満の場合は、定員を超えていわて留学合格者数まで可）とする。

学校番号	学校	学科（学系）	課程
44	釜石高等学校	普通・理数科（くくり募集）	全日制

URL（note） <https://kas-hs.note.jp/>



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」		
・これまでに学んだことを釜石高校での学習に活かし、自分の興味のある分野に留まらず幅広い学問領域について学ぶ意欲を持った生徒 ・自身と価値観の異なる相手ともコミュニケーションを取ろうとする、他者に対して開かれた姿勢を備えた生徒 ・したいこととすべきことの折り合いを付け、規則正しい生活習慣を積み重ねることができる生徒		
特色入学者選抜において求める生徒像		
・知的好奇心や学ぶ意欲を強くもち、新しいことに進んで挑戦しようとする学習活動の中心となる生徒 ・これまでの学習等で身につけた知識・技能を活用し、それらを組み合わせて論理的に応用・発展させながら、未知の課題にも前向きに取り組むことのできる生徒 ・探究する活動において、科学的・国際的な視点をもち、多様な他者と積極的に関わり、活動の中心となって活動できる生徒		
各選抜の内容		
一次募集	一般入学者選抜	【募集定員】 定員（160 名）から特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5：5 1 学力検査（500 点） 2 調 査 書（500 点） 3 学校独自検査 なし 《合計 1,000 点》
	特色入学者選抜	【募集定員】 8 名（定員の 5 %） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（100 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定×1＋中学 2 年の 9 教科の評定×2＋中学 3 年の 9 教科の評定×3」の合計 270 点を圧縮 2 志願理由書（50 点） 評価の観点（配点）：志願意欲等（25 点） 入学後の取り組みに関する具体性、意欲等（25 点） 3 口頭試問（理数・英語）（200 点） ・当日示された問題を解く。その後自分の作成した解答について発表および質疑応答を行う。 ・最終的な解答の正誤のみならず、途中の解答の過程や論理的な説明、表現の仕方も評価の対象とする。 ・論理的な思考力や表現力を問う応用的な問題を出題する。 ・評価の観点（配点）：理数 知識・技能（50 点）、思考・判断・表現（50 点） 英語 知識・技能（50 点）、思考・判断・表現（50 点） 《合計 350 点》
	一次選考の有無	志願者が 2 倍を超える場合には、提出書類により一次選考を行う場合がある。

日程	1 日目：一般入学者選抜の学力検査 （8：30 集合、14：55 終了） 2 日目：特色入学者選抜の口頭試問 （各受検者の集合時刻、終了時刻は、受検票送付時に指示）
二次募集	【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（270 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定×1＋中学 2 年の 9 教科の評定×2＋中学 3 年の 9 教科の評定×3」の合計 2 面接（75 点） ・個人面接（1 人約 10 分） ・評価の観点（配点）：志望意思（25 点） これまで力を入れてきたこと（25 点） 高校生活への抱負（25 点） 3 作文（75 点） ・検査時間 50 分 ・評価の観点（配点）：内容の具体性等（60 点） 構成・表現（15 点） 《合計 420 点》
その他 （学校・学科の 魅力・特色）	・スーパーサイエンスハイスクール指定校（第Ⅲ期・令和 4～8 年度）として、科学的探究能力（STEEL＝STEAM＋Education＋Entrepreneurship＋Local）の育成に力を入れている。 ・普通科（文系コース、理系コース）、理数科を設置しており、2 年生から一人ひとりの進路や適性に応じた科目選択ができる。 ・理数科では理数科基礎研修や科学者養成研修（プログラミング実習等）のような独自の行事を行っている。 ・釜石市教育魅力化コーディネーターと連携し、ＳＳ総探、ＳＳ総探基礎等の探究活動の時間では、外部団体と積極的に交流しながら活動している。 ・社会で活躍する人と出会い、自分の将来について考える学びの行事「Kamaishi コンパス」（釜石コンパス事務局主催）を行っている。 ・グループワーク、ICT の有効活用等、分かりやすい授業に取り組んでいる。 ・男子空手道部の 11 年連続、女子空手道部の 4 年連続インターハイ出場等、部活動にも力を入れている。生徒会活動も活発で、体育祭、釜高祭（文化祭）等の行事は生徒が主体的に企画・運営を行っている。 ・校則検討委員会を開催し、生徒と教員による議論を通して、スマートフォンの校内使用ルール等の校則の見直しを行っている。

学校番号	学校	学科（学系）	課程
45	金石商工高等学校	全学科（機械科、電気電子科、総合情報科）	全日制

URL (note) <https://kat-hs.note.jp/>



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」			
・自ら夢を持ち、何事にも興味を持って取り組める生徒 ・本校で目標を持って新たなことに挑戦したい生徒 ・工業・商業の知識・技術を身につけたいという意欲のある生徒 ・地域の将来のため、地元産業に貢献したいという意思のある生徒			
特色入学者選抜において求める生徒像			
・各教科の学習や生徒会活動、部活動等で目標を持って活躍しようとする生徒 ・将来、工業・商業において地元産業に貢献しようとする意欲を持ち、そのためにどのような学校生活を送りたいか具体的に説明できる生徒			
各選抜の内容			
一 次 募 集	一 般 入 学 者 選 抜	【募集定員】各科定員（40 名）から特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 7：3 1 学力検査（700 点） 2 調 査 書（300 点） 3 学校独自検査（100 点） ・個人面接（1 人約 10 分） ・志願理由、入学後の取り組みたいこと、将来の進路意識などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（40 点） 進路に関する意欲（40 点） 表現力（20 点）	《合計 1100 点》
		【募集定員】各科 2 名（定員の 5 %） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（100 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定×1＋中学 2 年の 9 教科の評定×2＋中学 3 年の 9 教科の評定×3」の合計 270 点を圧縮 2 志願理由書（100 点） 評価の観点（配点）：これまでの取り組みへの主体性、積極性（50 点） 高校入学後の活動に関する意欲（50 点） 3 作文（100 点） ・検査時間（50 分） ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えや感じたことを記述する。（800 字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（40 点） 表現力（60 点）	《合計 300 点》
	特色入学者選抜	一次選考の有無	無

日程	1 日目：一般入学者選抜の学力検査、面接 （8：30 集合、面接が終了した者から順次終了） 2 日目：特色入学者選抜の作文 （8：30 集合、10：00 終了）
二次募集	【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（100 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定×1＋中学 2 年の 9 教科の評定×2＋中学 3 年の 9 教科の評定×3」の合計 270 点を圧縮 2 面接（100 点） 個人面接（10 分） ・志願理由、入学後の取り組みたいこと、将来の進路意識などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（40 点） 進路に関する意欲（40 点） 表現力（20 点） 3 作文（100 点） ・検査時間（50 分） ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えや感じたことを記述する。（800 字程度） ・評価の観点（配点）：内容の具体性（40 点） 表現力（60 点） 《合計 300 点》

その他 （学校・学科の 魅力・特色）	総合的な専門高校として、地域・社会から期待される人材育成するための学校づくりに取り組んでいます。 機械科 機械加工技術やコンピュータの操作、NC 工作機械を利用したものづくりなど実習を通して技能を身につけ社会人として必要とされる資質や能力を学ぶ学科です。 電気電子科 電気エネルギーの発生から最先端のエレクトロニクス技術の基礎まで、専門的な技能・技術を学ぶ学科です。また、多くの国家資格に挑戦します。 総合情報科 商業に関する知識や技術を学び、興味や関心によりコース選択後、ビジネス活動の専門性をさらに深め、就職から大学進学まで幅広い進路に対応できる学科です。 取得可能な資格 それぞれの学科において、専門的な知識や技術を学ぶことにより、在学中に多くの国家資格や検定、認定資格を取得することができます。 進路状況 地元や県内外の企業から数多くの求人があり、有利に就職することができます。また、資格取得を生かした上級学校への進学も可能です。
--------------------------	--

学校番号	学校	学科（学系）	課程
46	大槌高等学校	地域探究科	全日制

URL（note） <https://oht-hs.note.jp/>



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」		
・互いを認め、高め合って協働し、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒 ・自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒 ・将来、地域や社会に貢献するために日常の学習に前向きに取り組む生徒 ・部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする生徒 ・大槌の自然環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる生徒		
特色入学者選抜において求める生徒像		
・各教科の学習や探究活動に主体的、協働的に取り組み、自ら成長しようとする強い意思を持つ生徒 ・特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、学校行事）や校外活動、ボランティア活動などに意欲的に取り組み、それらの活動の中心となる生徒 ・本校の教育目標「一人ひとりの強み“大槌（ハンマー）”を育て、地域や社会に貢献できる人材の育成」の主旨を理解し、自分の在り方や生き方について具体的に説明できる生徒		
各選抜の内容		
一次募集	一般入学者選抜	【募集定員】定員（80 名）からいわて留学、特色入学者選抜合格者数を減じた数 【選抜方法】 学力検査：調査書の比率 … 5：5 1 学力検査（500 点） 2 調査書（500 点） 3 学校独自検査 なし 《合計 1000 点》
	特色入学者選抜	【募集定員】4 名（定員の 5 %） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（100 点） 「中学 1 ～ 3 年の 9 教科の評定」の合計 135 点を圧縮 2 志願理由書（100 点） 評価の観点（配点）：志願意欲等（30 点） これまでの取組への主体性や積極性など（30 点） 入学後の活動に関する具体性と意欲（40 点） 3 面接（100 点） ・個人面接（10 分） ・評価の観点（配点）：高校生活への意欲（30 点） 内容の具体性と探究心（30 点） 進路に関する意欲（20 点） 表現力等（20 点） 4 作文（100 点） ・検査時間 40 分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えや感じたことを記述する。（600 字程度） ・評価の観点（配点）：論点の明確性（40 点） 文章の構成力（30 点） 思考力・表現力（30 点） 《合計 400 点》

	一次選考の有無	無
日程	1 日目：一般入学者選抜の学力検査、特色入学者選抜の作文、面接 （8：30 集合、一般入学者選抜のみの受検生は、14:55 終了。特色入学者選抜の受検生は、作文と面接が終了した者から順次終了）	
	2 日目：なし	

二次募集	【選抜方法】
	1 調査書（学習の記録）（100 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定×1＋中学 2 年の 9 教科の評定×2＋中学 3 年の 9 教科の評定×3」の合計 270 点を圧縮 2 面接（100 点） ・個人面接（8 分） ・志望理由、学習意欲、将来の進路希望などについて面接官の質問に答える。 ・評価の観点（配点）：志望理由等（20 点） 中学校の生活（20 点） 本人に関すること（20 点） 教養・一般常識（20 点） 表現力等（20 点） 3 作文（100 点） ・検査時間 40 分 ・当日示されたテーマに基づいて、自分の考えや感じたことを記述する。（600 字程度） ・評価の観点（配点）：論点の明確性（40 点） 文章の構成力（30 点） 思考力・表現力（30 点） 《合計 300 点》

その他 （学校・学科の 魅力・特色）	・地域探究科とは、地域を学びのフィールドとして、その魅力や社会課題について、多様な人々や団体及び関係機関と協働しながら探究的に学ぶ学科です。 ・充実した総合的な探究の時間（1 年生は、地域を題材としたフィールドワークやグループで探究を行い、分析・考察後、成果や課題をグループで発表します。2 年生は、マイプロジェクト活動を展開し、自らの興味関心に基づいたテーマで深く学び、将来の進路実現へと結びついた取組を行います。3 年生は、アカデミックコースとキャリアコースに分かれ、専門家や職業人との対話や議論を通して、18 年間の学びを振り返ります。） ・学校横断型探究プロジェクト参加 ・多様な学校設定科目（「地域みらい学」）で探究的な学びを教科横断的に実践 ・復習科目（リメディアル）及び個別最適化されたカリキュラムや教育方法の実践（生徒自ら選択・調整できる学び） ・デュアルシステムの導入によるキャリア学習（インターンシップ）の充実（大槌キャリア・プログラム） ・多様な進路目標に応じた指導 ・復興研究会（地域の復興の歩みや町の変化を記録・発信する定点観測活動及び他校交流活動、まちの魅力発信と産業振興や支援活動、子どもたちと学びを協働する活動） ・はま研究会（東京大学大気海洋研究所と連携し、「海で遊ぶ。海を学ぶ。」をコンセプトに海洋環境や生態系について学ぶ活動） ・生徒を主体とする校則検討委員会の実施 ・大槌町と姉妹都市である米国カリフォルニア州フォートブラッグ市との生徒間交流事業への参加 ・いわて留学（県外募集）「大槌はま留学」の実施
--------------------------	--